

SJクイズ?

[問題編]

Q1

スマートフォンや携帯電話等の使用による交通死亡・重傷事故件数※¹は近年、増加傾向にあります。2024 年は 136 件発生しましたが、これは 2020 年の何倍になっているでしょう？

※¹ 第 1 当事者が自動車（乗用車、貨物車、特殊車）の件数。第 1 当事者は交通事故の当事者のうち、過失が最も重い者または過失が同程度の場合は被害が最も軽い者。第 2 当事者は過失がより軽い、過失が同程度の場合は被害がより大きいほうの当事者。

- ①約 1.5 倍 ②約 2 倍 ③約 2.5 倍

Q2

携帯電話等を操作しながら自転車を運転したことによる交通死傷事故件数は 2020 年から 2024 年にかけて 114 件発生しました。運転者（第 1・第 2 当事者）の年齢層別にみると、最も多いのは 19 歳以下ですが、その割合は何%でしょう？

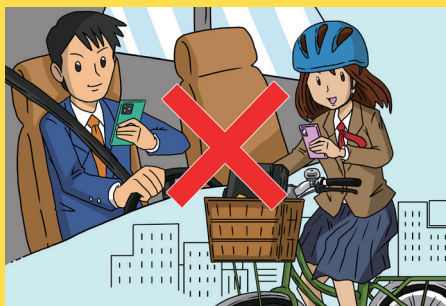
- ①約 45% ②約 55% ③約 65%

Q3

自動車安全運転センターは「ながらスマホ」の危険性を検証するための実験※²の中で「スマホ使用なし」と「スマホ使用」での自転車運転中の視線の変化を計測しました。その結果、前方を注視している割合は「スマホ使用なし」の場合に比べ、「スマホ使用」は最大で何%低下したでしょう？

※² 自動車安全運転センター安全運転中央研修所の中に設定したコース（設定路地区間、信号交差点、踏切および自転車通行帯等を走行する全長約 460m）で実施。

- ①約 25% ②約 35% ③約 45%



【使用上の注意】

●営利目的での利用はおやめください ●内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください ●その他、使用に関するご質問はお問い合わせください
本田技研工業（株）安全運転普及本部 TEL: 03 (5412) 1736

SJ クイズ ?

[解答・解説編]

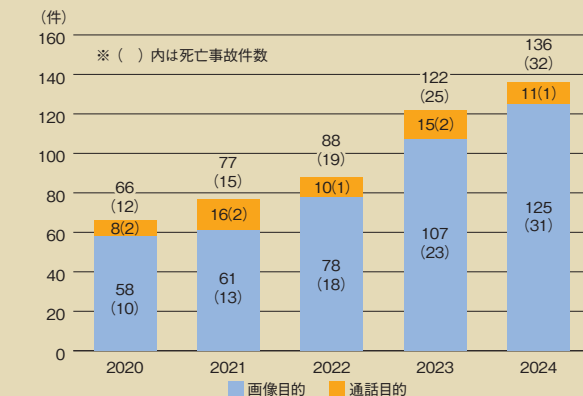
Q1 解答 ②約2倍

<解説>

2020年の携帯電話等の使用による交通死亡・重傷事故件数は66件(うち死亡事故12件)だったが、2024年は136件(うち死亡事故32件)と約2倍に増加した。使用目的の約9割は画面の注視やそれに伴う操作といった画像目的である。

「携帯電話等使用」の場合の死亡事故率(交通事故のうち死亡事故の占める割合)は、「使用なし」と比較して約3.7倍高くなる。「ほんの一瞬なら運転中にスマートフォンを見たり、操作しても大丈夫」という油断が、重大な交通事故につながる危険性がある。使用する時は、クルマを安全な場所に停車してからにしてほしい。

●携帯電話等使用による死亡・重傷事故件数の推移(2020～2024年)



通話目的使用とは音声による情報伝達を目的として携帯電話等を用いること(ハンズフリーを除く)。画像目的とは画像表示部位を注視することや、同目的でボタン操作をすること。

出典：警察庁資料

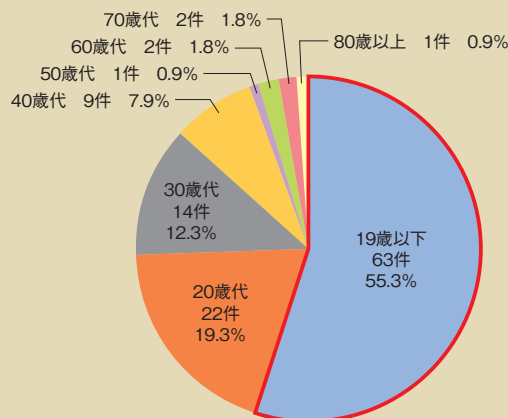
Q2 解答 ②約55%

<解説>

2020年から2024年にかけて発生した携帯電話等使用自転車関連死亡・重傷事故件数(114件)を年齢層別にみると、19歳以下が最も多く55.3%(63件)を占めている。

通話や画面を操作しながらの運転は片手運転となり、ブレーキをかけにくい状態となる。また、画面を注視しながらの運転は文字や動画に意識が向いてしまい、歩行者の存在を見落とししたり、意図せず信号を無視してしまう危険がある。こうした危険性を家庭や学校などで、周知してほしい。

●年齢層別・携帯電話等使用自転車関連死亡・重傷事故件数(第1・第2当事者・2020～2024年合計)



出典：警察庁資料

Q3 解答 ③約45%

<解説>

実験は、アイマーカーレコーダーを装着した状態で被験者に路地区間、信号交差点区間、自転車通行帯区間を組み合わせたコースを走行してもらい、「スマホ使用なし」と「スマホ使用(画面注視課題の走行)」の視点の動きを計測した(「スマホ使用」は手持ちとホルダー固定の2つの状態で計測)。その結果、「スマホ使用」の場合の前方注視の割合は「スマホ使用なし」(96.0%)と比べ、最大45.2%(自転車通行帯区間・ホルダー固定)の低下がみられた。現在はスマホで目的地までの地図を表示させながら運転をする人も多くみられるが、スマホの画面注視は走行時に確認すべき対象物への注視機会が奪われ、危険である。自転車を運転している時は「ながらスマホ」をやめ、スマホを見たり、操作する際は安全な場所に停車した上で使用しなければならない。また、スマホをホルダーに固定している場合でも走行中の画面注視や操作は危険なので控えてほしい。

【使用上の注意】

●営利目的での利用はおやめください ●内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください ●その他、使用に関するご質問はお問い合わせください
本田技研工業(株) 安全運転普及本部 TEL: 03 (5412) 1736